



整備が進む子育て支援センターと図書館の複合施設



いきいき百歳体操



球磨村での活動の様子



整備が進むウミガメ公園横の保安林

建て替え工事を進めてまいります。

また、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター事業との連携や学童保育、遊び場開放を充実させ、子育て家庭への支援体制を構築してまいります。

高 年齢者福祉につきましては、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう「住まい・医療・介護・予防・生活支援」を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を、さらに推進してまいります。

また、「きほうまちかどエクササイズ」、「いきいき百歳体操」等を各地区に広げ、地域で自主的に取り組みが実践される介護予防事業を行ってまいります。

少子高齢化社会が進展するなか、妊婦・乳幼児から高齢者まで、全てのライフステージでの健康づくりを推進します。主体的に健康づくりに取り組むきっかけづくりとし

年2棟完成いたしました。さらなる雇用の創出が期待されるとともに、地元商工業への波及効果や交流人口の増加等にも期待されるところであります。

青森県藤崎町のりんごと本町の柑橘類を中心とした特産品の地域間連携では、ローカルtoローカル新連携プロジェクトの旗印のもと、更なる連携を深めてまいります。

石川県中能登町とは、姉妹町提携後、親善を深めながら官民合わせた様々な分野で交流が進められており、引き続き両町のさらなる発展と相互協力の絆が深まっていくことを期待しております。

ふ るさと納税では、自分の生まれ故郷やお世話になった地域、これから応援したい地域の思いを実現し、「ふるさと」へ貢献するための寄付金制度の振興を図るため、本町の豊かな恵みである柑橘、米、水産物などの紀宝町自慢の特産品をお

て、「みらい健康マイレージ事業」を推進し、生活習慣病の予防や健康寿命の延伸を目指します。

また、「歯科保健プロジェクト会議」において企画検討し、生涯にわたる歯と口腔の健康づくりによる、生活の質の向上を図ってまいります。

新型コロナウイルス感染症をはじめとする、感染症予防と感染拡大防止対策については町民の皆様への啓発・周知を徹底してまいります。

学 校教育につきましては、安全・安心の向上及び施設の長寿命化にむけ矢野中学校の大規模改修工事を本年12月の完成に向け鋭意進めてまいります。

また、国が進めるGIGAスクール構想に基づいて、一人一台端末と通信ネットワークを一体的に整備し、児童生徒一人ひとりが公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育を推進します。

町立図書館移転に係る改

届けし、振興と充実を図ってまいります。

新 たなごみ処理体制の移行につきましては、平成31年4月から東紀州広域ごみ処理に係る一部事務組合設立準備会を立ち上げ、尾鷲市にあります尾鷲市営野球場を建設予定地として位置づけ、建設に向けたさまざまな協議・検討が進められ、本年4月の一部事務組合設立を目指し円滑なごみ処理体制への移行ができれば努めてまいります。

防 災対策関係につきましては、南海トラフを震源とする巨大地震の発生が懸念されていることから、国土交通省により道の駅「紀宝町ウミガメ公園」横の保安林を活用し、防災拠点施設の整備を進めていただいております。本町におきましても、より安全・安心な道の駅となるよう、同拠点内への貯水槽や避難スペースの確保等に向けた検討を進めるとともに、防

修工事につきましては、本年4月のオープンを目指して移転業務を進めております。子育て支援センターと連携することによって、教育と子育て事業を融合した新たなサービスを展開してまいります。

なお、三重県において開催が予定されております三重とこわか国体（第76回国民体育大会）、三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）におきましては、紀宝町は本年8月、デモンストレーションスポーツの部において、ラジオ体操操で参加してまいります。ぜひ町民の皆様の積極的なご参加をお願いします。

結 びに、新型コロナウイルス感染症の早期終息と、この1年がすべての町民の皆様にとりまして幸多い年となりますことを心からお祈り申し上げますとともに、一層のお力添えをお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

災拠点施設の早期完成にむけてさらに国との連携を図り、防災機能の充実に努めてまいります。

昨年発生した九州地方を中心とした豪雨災害では、水害タイムライン（事前防災行動計画）運用自治体連携協定を締結している熊本県球磨村に発災直後から延べ11名の職員を派遣し、救援物資の搬送や被害状況調査、給水活動支援を実施させていただいたところであります。自然災害や感染症の脅威のなかで、改めて、「人の命」を守る防災・減災の大切さを強く感じたところでもあります。

引き続き、台風等の風水害に備えたタイムライン及び昨年運用を開始した地震津波タイムラインの更なる充実を図るため、地域版タイムラインを推進してまいります。

子 育て支援につきましては、安心して子育てができる環境の整備や幼児教育の効率的な運用、推進を図るため鶴殿保育所の